



中長期目標と環境データ

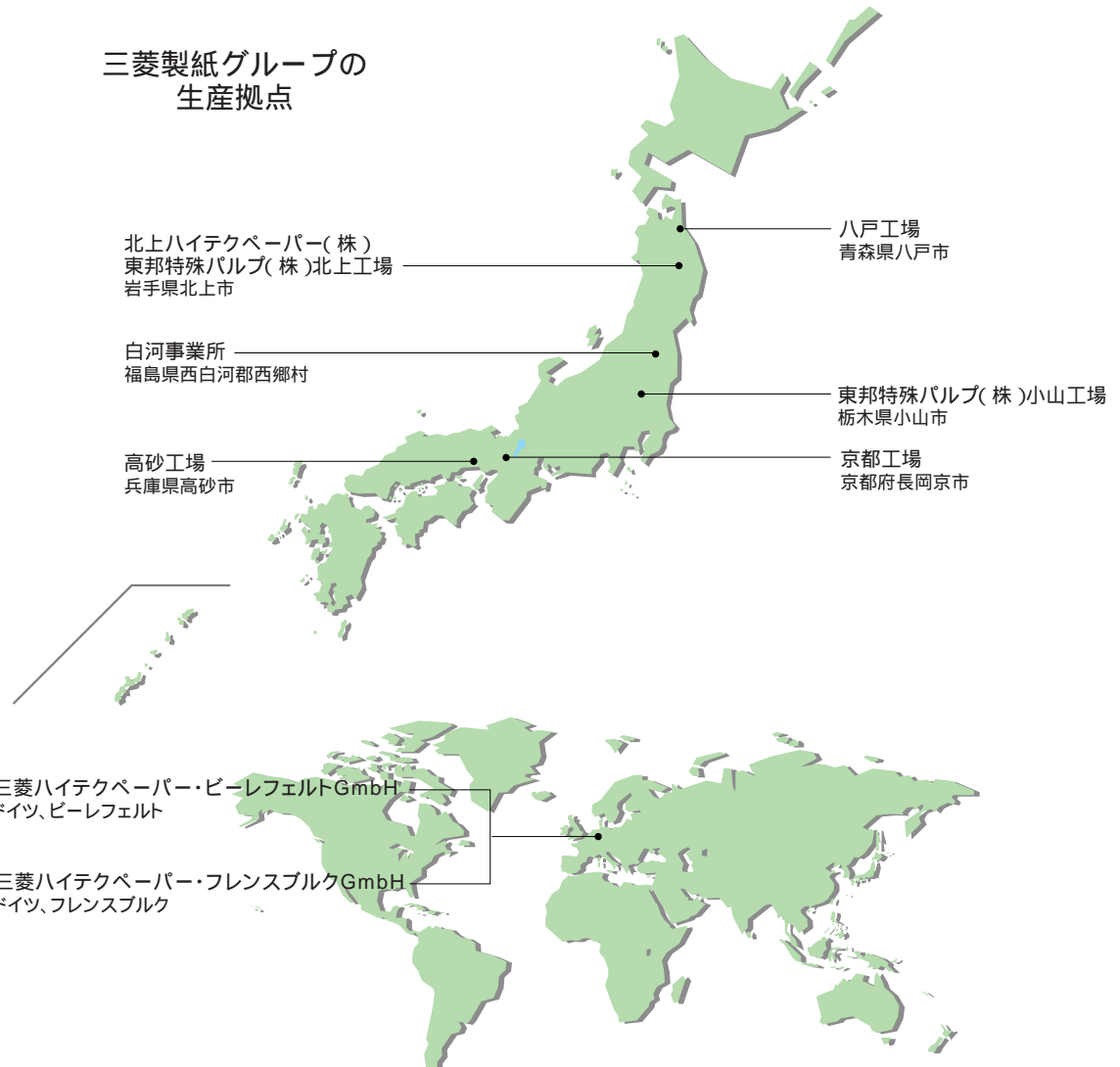
三菱製紙グループでは、項目5、8～10に中長期の環境目標を設定しています。
 なお、項目の1～8は、高砂、京都、八戸、白河、北上ハイテクペーパーの5工場合計を対象としています。(連合会目標)では、日本製紙連合会が設定した目標から算出した数値を()内に示しています。

中長期の環境目標と実績

	1990年度 実績	1999年度 実績	2005年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2010年度 当社目標	2008～2012年度 5年間平均 (連合会目標)	備考
1 化石エネルギー消費量 1000GJ	13,641	17,053	14,819	14,241	13,721			
2 化石エネルギー原単位 MJ/t	13,909	16,067	13,863	13,275	13,226		(11,127)	(1990年の80%)
3 化石燃料消費量 kL	241,989	367,366	330,557	322,807	292,340			
4 化石燃料原単位 L/t	247	346	309	301	282			
5 CO ₂ 排出量 t-CO ₂	889,319	1,300,855	1,129,651	1,057,325	1,031,983	1,040,684		1999年の20%削減
6 CO ₂ 排出原単位 t-CO ₂ /t	0.904	1.226	1.057	0.986	0.995		(0.759)	(1990年の84%)
7 廃棄物有効処分率* %				94.3	92.0		(93%以上)	
8 廃棄物最終処分率 %			1.4	0.6	0.9	0.3		
9 クロロホルム大気放出量 t		63.0	23.1	19.3	20.8	17.9		1996年の80%削減
10 海外植林面積 ha	109	12,923	24,981	26,626	26,707			44,000(2012年目標)

* 廃棄物有効利用率=(廃棄物発生量(減容化前) - 最終処分量)/廃棄物発生量(減容化前)×100

三菱製紙グループの 生産拠点



工場別環境データ

		2006年度	2007年度	2008年度	前年度との比較
製品販売量	t				
	5工場合計	1,083,300	1,072,730	1,037,400	3.4%減少
化石エネルギー消費量	千GJ				
	5工場合計	14,335	14,241	13,721	3.7%改善
	八戸工場	9,786	9,612	9,438	
	高砂工場	2,386	2,322	1,968	
	京都工場	546	573	514	
	白河事業所	189	194	206	
	北上ハイテクペーパー	1,428	1,540	1,595	
化石エネルギー原単位	MJ/t				
5工場合計	13,233	13,275	13,225	0.4%改善	
用水使用量	千t				
5工場合計	121,352	131,528	129,533		
用水原単位	t/t				
5工場合計	112.0	122.6	124.9	1.9%悪化	
CO ₂ 排出量	t-CO ₂				
	5工場合計	1,075,698	1,057,325	1,031,983	2.5%改善、1999年比79.3%
	八戸工場	840,983	821,604	808,266	
	高砂工場	121,026	117,752	97,404	
	京都工場	27,240	25,848	24,567	
	白河事業所	10,541	10,894	12,025	
	北上ハイテクペーパー	75,908	81,227	89,721	
CO ₂ 排出原単位	t-CO ₂ /t				
5工場合計	0.993	0.986	0.995	0.9%悪化	
SO _x 排出量	Nm ³				
	八戸工場	86,846	137,524	118,232	
	高砂工場	114	106	0	
	京都工場	1,538	0	0	
	白河事業所	8,496	8,154	8,953	
	北上ハイテクペーパー	124,547	146,368	149,874	
NO _x 排出量	Nm ³				
	八戸工場	692,558	683,850	683,162	
	高砂工場	60,097	59,158	36,822	
	京都工場	3,451	1,653	1,327	
	白河事業所	2,932	3,528	3,725	
	北上ハイテクペーパー	275,981	276,079	224,628	
COD	t				
	八戸工場	6,360	6,294	6,411	
	高砂工場	183	184	129	
BOD	t				
	京都工場	26	52	49	
	白河事業所	48	42	39	
	北上ハイテクペーパー	899	894	880	
廃棄物有効利用率	%				
5工場合計	83.0	94.3	92.0	2.3ポイント減少	
廃棄物最終処分率	%				
5工場合計	1.7	0.6	0.9	0.3ポイント悪化	

(1) 化石エネルギー原単位

日本製紙連合会では、自主行動計画目標として、2008年度から2012年度の5年間平均値を1990年度比20%削減に設定しました。当社の2008年度化石エネルギー原単位は、対前年では0.4%改善しており、1990年度比では5%の削減となっています。

(2) CO₂排出量

2007年より新たにCO₂削減の取組み(目標:2010年度中に1999年度CO₂排出量の20%削減)をスタートしました。

2008年度CO₂排出量の実績は、2007年度に比べ2.5%減少し、1999年度比では20.7%の削減となりました。

(3) 廃棄物削減

各工場においてはゼロエミッションの取組みを進めています。2008年度最終処分率は、八戸工場での最終処分量が増えて、0.3ポイント悪化しました。